

《 コラム 》 Vol.41

海外生活 タイランド（その1）文化

今回から暫くはノビサックの生産国、タイのお話をしたいと思います。  
タイは日本の四季とは異なり、11月から2月の乾季、3月から5月の暑季、6月から10月の雨季の3つの季節があるそうです。  
常夏の国ですが、12月が一番涼しくて、過ごしやすいです。  
観光にも12月をお勧めします。

マレーシアやカンボジアの国境付近では稀に紛争の情報が入ってきますが、全国的に治安は良い方で、わりと安全です。

首都はバンコク。  
バンコクは略語で、正式名称はめちゃくちゃ長いです。  
地方の方では「バンコク」では通じない場合があり、「クルンテープ」というと通じます。  
バンコクは都会、コンクリートジャングルなので、めちゃくちゃ暑いんです。  
渋滞がひどく、近年は大気汚染が懸念されております。

タイは仏教国であり、9割くらいが仏教徒とのこと。  
観光でも寺院めぐりが有名です。  
中でもワットポー（「ワット」はお寺です）の寝釈迦は有名です。



全長 46m、高さ 15mで、とても大きいです。（おそらくコンクリート製）

因みにブロンズ製（銅像）の世界一巨大な寝釈迦は、全長 41 メートル、高さ 11 メートル、重さ約 300 トン。

その場所はバンコク・・・ではなく、なんと、福岡県の南蔵院にあります。

タイは王国なすので、王様がいます。

現在の国王はラーマ 10 世。

2016 年に先代の王様ラーマ 9 世から王位を継承されました。

タイのお札は歴代の王様の肖像が描かれております。

タイに行くとは分かるのですが、毎日同じ曲がどことなく聞こえてきます。

午前 8 時と午後 6 時に公共施設やラジオ、テレビ、駅、市場などで国歌が流れます。

毎日流れますので、曲のリズムが脳裏に焼き付いてしまいます。

国歌が流れている間は、直立不動の姿勢を取り、歌が終わるまで動かないのがマナーとのこと。

でも近年は、このマナーがどこかに行ってしまう感じがです。

国歌の話で驚いたのは映画館。

館内で映画を上映する前に国歌が流れます。

国歌が流れている間は皆さん起立しています。

タイの皆さんはあまりお家で料理をしません。

ですので、屋台とかをあちこちで見かけます。

タイの料理は・・・めっちゃくちゃ美味しいです。

でも辛い物や、パクチー系の臭いが苦手な人は嫌いかも。

最近では日本のコンビニやスーパーなどでも「グリーンカレー」や「ガパオライス」などを見かけます。

タイ料理のお話は別の機会にまた。

タイの言葉は、当然タイ語です。

英語なんざあ～通じやしやせん。

このタイ語、発音に音程があって、普通に日本語的に話しても全く通じません。

例えば豚のことを「ムー (หมู)」と言いますが、しり上がりにムー↑と発音しないと通じません。

タクシーに乗って行きたい場所を言っても、音程が違うと全くわかってもらえません。（これには参りました。）

遺跡で有名なアユタヤという場所がありますが、ただ「アユタヤ」と言っても通じません。

「アユッタヤー」みたいに発音しないと通じません。しかも音程付きで。激難です！

タイ人の皆さんは、よくあだ名で呼び合っております。

「ムー」さん（豚さん）や「プラー」さん（魚さん）など。単純に動物や物の名前があだ名にされているようです。

「プラー」はナム・プラー（魚醬）のプラーですね。ナム・プラーの「ナム」は水を意味します。

話が長くなりますので、今回はこの辺で。